

テーマ

人間関係を計量的にとらえる

適用分野

人間関係の分析、社会意識の調査、社会調査の実施技術

研究名称

パーソナル・ネットワークの構造と機能に関する研究

氏名所属

星 敦士 教授  
文学部 社会学科

内容

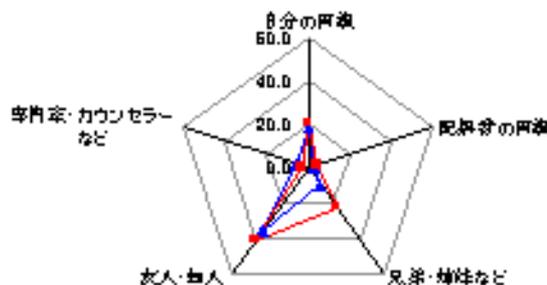
### ●特徴

人々の意識や行動は、その人がもつ人口学的・社会経済的な個人属性だけで決まるのではなく、その人を取り巻く人間関係（パーソナル・ネットワーク）が大きく影響している。このパーソナル・ネットワークの構造と機能について研究を行なっている。

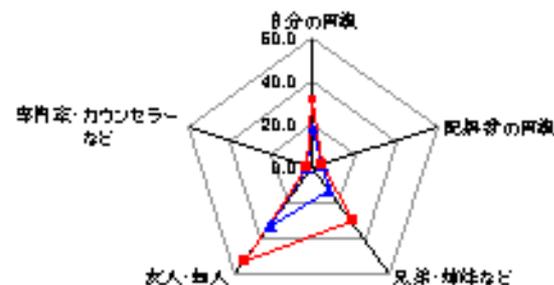
### ●研究内容

わが国の社会的課題の1つである少子化に関して、経済的状況や世帯をとりまく諸種の環境要因とともに、ネットワークとしてとらえることができる世帯内外の育児サポート資源の観点からアプローチしている。またそれらに関する情報およびデータ収集方法等の社会調査法の実施に関する技術の提供をおこなう。

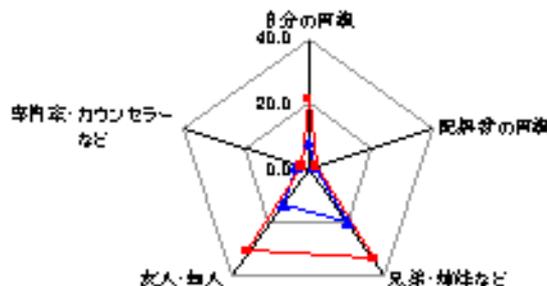
【仕事・職業についての相談】



【結婚・夫婦生活についての相談】



【酒との関係についての相談】



【子どもの教育・育児についての相談】

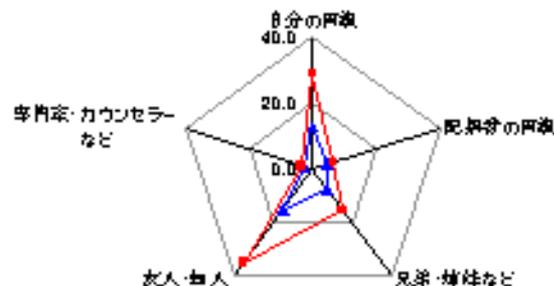


図 配偶者以外の相談相手から得るパーソナル・ネットワークのジェンダー差  
(星敦士 2005, 『世代とジェンダーの観点から見た相談ネットワークの構造』『人々関係研究』61(4) 59-66, p.59)  
(■:女性 ▲:男性)

キーワード

社会意識、社会調査法、パーソナル・ネットワーク

連携方法

- 講演
- 研修
- 研究相談
- 学術調査
- コメント
- 共同研究